



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社マルイチ産商

上場取引所 名

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管理部門 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	129,274	4.5	935	△10.3	1,254	△7.6	748	9.8
25年3月期第3四半期	123,673	4.2	1,042	60.9	1,357	39.6	682	38.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 857百万円 (37.0%) 25年3月期第3四半期 626百万円 (26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	32.49	—
25年3月期第3四半期	29.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	50,820	18,209	35.3
25年3月期	41,764	17,560	41.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 17,958百万円 25年3月期 17,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	6.00	8.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,000	1.4	1,000	9.9	1,350	2.1	650	6.9	28.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	23,121,000 株	25年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	66,202 株	25年3月期	65,841 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	23,055,038 株	25年3月期3Q	23,055,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・財政政策等による円安・株高基調が進み、輸出関連産業を中心に緩やかな回復基調となりました。一方で個人消費については、消費税増税への不安感や、世帯所得の伸び悩み等を背景に、生活必需品に対する節約志向が継続しております。食品流通業界におきましては、業態・業種を超えた低価格競争が激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは今年度を現中期経営計画「Cキューブ-2013」の仕上げと、次期からの新中期経営計画「変革2016 ~Challenge for Change~」の助走期間と位置づけ、戦略課題に取り組んでおります。

売上拡大に向けましては、強みであります商品の調達力・開発力と、生鮮基軸の地域密着型フルライン機能を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕化を進めました。また、持続的成長を支える情報基盤の構築に取り組みました。

また、水産品流通の全体最適化と、発展への貢献を目的に、全国販売網・物流網、マーケティング力に強みを持つ三菱食品株式会社と業務提携いたしました。当社の国内水産品の調達力、販売力と組み合わせることで、水産品流通におけるサプライチェーンの構築に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,292億74百万円（前年同期比4.5%増）となりました。利益面につきましては、営業利益9億35百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益12億54百万円（同7.6%減）、四半期純利益7億48百万円（同9.8%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高	910億56百万円（前年同期比5.7%増）
営業利益	5億59百万円（前年同期比0.3%増）

売上高につきましては、12月商戦において、鮭、ブリ、マグロ等の売上が堅調に推移したことに加え、新規顧客の獲得や、日配部門におけるオリジナル商品の開発と販売、フードサービス事業における外食・惣菜マーケットの販路拡大により、前年同期に対して49億4百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、急激な相場変動に伴う水産物全般の仕入価格上昇の影響を受けましたが、売上高の拡大により売上総利益額が増加したことから、前年同期に対して1百万円の増益となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高	194億48百万円（前年同期比5.7%減）
営業利益	51百万円（前年同期比54.0%減）

売上高につきましては、子会社AES(株)と連携した地域小売業への提案型営業による深耕化と、長野県産の原材料を使用した当社オリジナル商品の開発・販売を進めましたが、大手小売業の仕入調達ルート変更の影響もあり、前年同期に対して11億86百万円の減収となりました。

営業利益につきましては、店頭での低価格競争の影響により販売価格が低下し、販売管理費等のコスト削減に努めたものの、前年同期に対して60百万円の減益となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高	182億85百万円（前年同期比10.8%増）
営業利益	2億96百万円（前年同期比0.5%増）

売上高につきましては、国産畜肉の相場が高値推移したものの、需要が堅調だったことに加え、首都圏エリアへの販売拡大と、当社オリジナル開発商品「りんご和牛信州牛」「信州米豚」「信州ハーブ鶏」の伸長により、前年同期に対して17億87百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加と、物量の増加に対してコスト低減に努めたことから、前年同期に対して1百万円の増益となりました。

<その他（小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高	4億83百万円（前年同期比24.5%増）
営業利益	27百万円（前年同期比64.2%減）

子会社でありますAES(株)による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)による物流・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進め、売上高は4億83百万円、営業利益は27百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は508億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して90億55百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が7億39百万円減少する一方で、受取手形及び売掛金が77億94百万円、商品及び製品が20億40百万円増加したことによります。

負債は326億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して84億5百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が86億51百万円増加する一方で、未払法人税等が3億45百万円減少したことによります。

純資産合計は182億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億49百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.5%から35.3%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,534	5,794
受取手形及び売掛金	15,107	22,902
商品及び製品	2,365	4,406
仕掛品	5	8
原材料及び貯蔵品	67	83
その他	2,164	2,373
貸倒引当金	△133	△169
流動資産合計	26,111	35,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,634	3,467
土地	7,639	7,639
その他（純額）	736	781
有形固定資産合計	12,010	11,888
無形固定資産		
のれん	323	261
その他	200	185
無形固定資産合計	524	446
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123	1,947
その他	1,103	1,245
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	3,118	3,084
固定資産合計	15,653	15,419
資産合計	41,764	50,820
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,823	26,474
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	431	85
賞与引当金	481	256
その他	2,218	2,555
流動負債合計	22,454	30,872
固定負債		
退職給付引当金	652	638
役員退職慰労引当金	228	212
債務保証損失引当金	90	90
資産除去債務	78	79
その他	701	717
固定負債合計	1,750	1,738
負債合計	24,204	32,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	10,129	10,670
自己株式	△53	△53
株主資本合計	17,175	17,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159	241
その他の包括利益累計額合計	159	241
少数株主持分	224	251
純資産合計	17,560	18,209
負債純資産合計	41,764	50,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	123,673	129,274
売上原価	111,495	117,041
売上総利益	12,178	12,233
販売費及び一般管理費	11,135	11,298
営業利益	1,042	935
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	69	64
受取賃貸料	130	136
その他	127	130
営業外収益合計	329	334
営業外費用		
支払利息	7	6
固定資産除却損	3	3
貸倒引当金繰入額	1	1
その他	1	3
営業外費用合計	14	15
経常利益	1,357	1,254
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
減損損失	113	—
特別損失合計	113	—
税金等調整前四半期純利益	1,244	1,278
法人税、住民税及び事業税	500	356
法人税等調整額	56	146
法人税等合計	557	502
少数株主損益調整前四半期純利益	687	775
少数株主利益	5	26
四半期純利益	682	748

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	687	775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	82
その他の包括利益合計	△61	82
四半期包括利益	626	857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620	830
少数株主に係る四半期包括利益	5	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,152	20,635	16,497	123,285	388	123,673	—	123,673
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	2,247	2,249	△2,249	—
計	86,152	20,636	16,497	123,286	2,636	125,923	△2,249	123,673
セグメント利益	558	112	294	965	77	1,042	—	1,042

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,056	19,448	18,285	128,790	483	129,274	—	129,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	2,587	2,589	△2,589	—
計	91,056	19,450	18,285	128,792	3,071	131,864	△2,589	129,274
セグメント利益	559	51	296	907	27	935	—	935

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。